

## 平成 29 年度第 1 回市川市史編さん委員会 会議録

平成 29 年 7 月 19 日（水） 18:00～18:30

全日警ホール第 3 会議室

杉山課長 本審議会を開催に当たり、現在、委員長、副委員長が決定しておりませんので、委員長が選出されるまで、仮議長として、文化振興課長の私、杉山が会議を進めさせていただきたいと思えます。委員の皆様よろしいでしょうか。

・・・委員の了承・・・

杉山課長 ただいまより、平成 29 年度 第 1 回市川市史編さん委員会を開催いたします。

会議に先立ちまして、定足数の確認をさせていただきます。ただいまの出席委員は、委員 9 名中 6 名であり、市川市史編さん委員会条例第 6 条 2 項に規定する開催要件である、過半数委員の出席を満たしておりますことを確認いたします。

なお、本審議会にあたりましては、本市の審議会等の会議の公開に関する指針により、原則公開となっております。本日の議題の中で非公開とする内容ではありませんので、公開となりますが、よろしいでしょうか。

・・・委員会の了承・・・

杉山課長 また、会議録の作成につきまして、従前どおり討議内容を簡略化せずに記録するという方法で作成させていただいてよろしいでしょうか。

・・・委員会の了承・・・

杉山課長 本日は傍聴者はいらっしゃいません。会議を進めさせていただきます。それでは、議題の「1. 委員長、副委員長の互選」ですが、まず、委員長の選出につきまして、市川市史編さん委員会条例第 5 条の規定により、委員の皆様の中からの互選となっております。どなたかご推薦をお願いいたします。

杉原委員 従来どおり吉村さんをお願いできればと思えます。

杉山課長 ただ今杉原委員より、吉村委員とのご発言がございました。他にご推薦はありませんか。ご推薦がなければ、吉村委員に委員長をお願いすることによってよろしいでしょうか。

・・・委員の了承・・・

杉山課長 吉村委員、「委員長」をお引き受けできますでしょうか。

吉村委員 皆様のご要望ということであれば、お引き受けします。

杉山課長 ありがとうございます。委員長は吉村委員を選任することに決定いたしました。恐れ入りますが、吉村委員長には議長席にご移動をお願いいたします。

・・・委員長が議長席へ移動・・・

杉山課長 では、ここで、吉村委員長よりご挨拶を頂戴したいと思います。よろしくをお願いいたします。また、これ以降の議事進行は、当委員会条例第6条の規定により、吉村委員長に議長をお願いしたいと存じます。

議 長 それでは、任期の2年間、委員長をさせていただきます。  
次に「副委員長の互選」ですが、どなたかご推薦がおありでしょうか。

朽木委員 民俗分野のほうから米屋先生を推薦させていただきたい。

議 長 ただいま、米屋委員のご推薦がありました。他にご推薦はありませんか。それでは本日は、米屋委員ご本人が所用で欠席のため、後日、米屋委員のご意向を確認し、了承を得られれば副委員長に決定とさせていただきたいと思っております。いかがでしょうか。

・・・委員の了承・・・

議 長 それでは皆様のご了承が得られましたので、米屋委員に副委員長をお受けいただけるよう、お願いしたいと思います。  
続きまして、議題の「2.「市川市史」通史編にかかる専門部会の設置に

ついて」に入ります。事務局より説明をお願いします。

杉山課長 資料2をご覧ください。こちらの資料は、平成28年度市川市史編さん委員会でご審議いただいた内容を簡単にまとめたものです。通史編につきましては、これまでも委員の皆様にご討議していただき、前回の委員会では、編さん委員会だけではなく、専門部会を設置し、具体的な内容を検討することが望ましいとのご意見もいただいております。このことについて、本委員会も新たな任期に入りますので、委員の皆様にご専門部会の設置の可否の確認と、専門部会の構成員について、あらためてご意見をお伺いしたいと思っております。

議 長 昨年度の第1回委員会で通史編について、「専門部会」を設置し、内容を検討するというご意見が出ておりましたが、専門部会を設置するというところでよろしいでしょうか。資料2を拝見したのですが、1の(3)にある「専門部会は『歴史』を中心に構成し、現場の教師」のところ、中学校と限定されていますが、議事録によると、「中学・高校」と出ておりますので、「中学校など」と入れていただければ、と思っております。中学校で力のある方がいらっしゃいますが、高校でも活躍されている方がおられるようですので。

竹内委員 明確に高校と入れたほうがいいのではないかと。

議 長 それでは「中学・高校」としましょう。小学校もおられるかもしれませんが。

議 長 それでは、通史編に関する専門部会を設置するという事で決定いたします。続いて、専門部会の委員の構成について検討いたします。ご意見等はございますか。委員の数は予算的にはどうなりますか。事務局では何人くらいが適当と考えますか。

事務局 開催回数を2回程度、人数は5名から6名くらいと想定しております。

議 長 そうしますと、今日の資料1で歴史分野が5名となりますので、そこにもう1名増やすということもいいかもしれませんが。

竹内委員 考えていることもあるので、民俗分野の朽木委員にぜひ入ってもらわなけ

れば困る。

議 長 いかがでしょうか、6人で可能であれば、歴史だけでやるよりも、民俗分野の朽木委員に入っていただいたほうがよろしいでしょう。  
それでは委員は6名と言うことで、市川市史編さん委員会条例第7条に基づき、通史編に関する専門部会を設置して、構成員につきましては環境史の杉原委員、考古の石川委員、古代史の吉村、近世史の村田委員、近・現代史の竹内委員、そして民俗の朽木委員の6名ということでよろしいでしょうか。

・・・委員の了承・・・

議 長 それでは、いま名前を挙げた6名を指名させていただきます。そしてできるだけ早く第1回目を開催したいと思います。9月に開催するということで調整させていただきたいと思えます。(前回の)議事録を見ますといろいろな意見が出ておりましたので、それを改めて整理して進めていきたいと思えます。また、専門部会の委員でない方からも要望を出していただいて、進めたいと考えております。  
年表のこともいろいろご意見がありましたので、前回の市史の続きで増補版にするのか、あるいは改めて抜本的にやり直すのか、前回そのような議論をしておりましたので、その部分について改めて検討させていただくということでよろしいですね。竹内委員よろしいですか。

竹内委員 はい。

議 長 それではこれにて本日の議題については終了させていただきます。  
以上をもちまして本日の平成29年度第1回市川市史編さん委員会は閉会といたします。お疲れさまでした。